

また同書の他の處で、社會經濟に於いては、男子は生産經濟に従事して収入を獲得し、女子は男性が外部より得たる収入を、家庭内部にあつて消費する。同じ収入もその消費の仕方によつては二倍も三倍にも役立てることが出来、又二分の一、三分の一の不生産的消費ともなる。この意味に於いて、従来の社會經濟が、生産經濟のみ重視して顧みなかつたところの消費經濟は實は將來重要性を加ふべきものであると同時に、従つて婦人のこの方面の參與たることを看過してはならないといはれる。かくて、同氏によれば、概して家庭中心的考察に基き、また職業婦人に對しては、その職業の神聖と男性に對して決して劣らざるの自信と教育と訓練とを持つべきを強調されてゐる。

右に述べ來つたところは、要するに歐米又は我が國で代表的意見とされるようなものを二、三採つたのであるが、併しこゝに與へられたる事實に則して、我が東京市に於ける職業婦人の實情を良く觀察することによつて、更に一層着實にして實際的な見解も作られるであらうことを信じて疑はない。

現下の婦人従業者や婦人労働者の思想的傾向は、大體に於いて極めて地味なものである。これら多くの職業婦人の中を流れる傾向は、まづ家庭中心な、而も極めて保守的なものである。すなはち、彼女達が職業婦人として働きに出るといふのも、殆んど總べてが「家計補助の爲め」であるといふことは、先きにも繰り返へして述べた通りである。實際に家計困難の故である。經濟的不況の爲めに、暗く喘ぐ家庭の爲めに幾分でも負擔を輕からしめようといふのである。言葉を換へるならば、職業婦人は何もそれ程、社會意識に目覺めたり、または特別に婦人解放を求めての故ではない、といふことは明らかなるところである。

彼女らは、要するに「家の爲めに」、「何か働きたい!」といふのである。これが、現下の職業婦人の中を流れる思想で

あり、従つてまた色々な問題もこれを中心にして考へらるべきである。

すなはち、現在婦人問題の中心と考へられる婦人職業の問題中いはゆる職業婦人に關するものとしては、労働賃銀、労働時間、保健設備等の問題である。なほこの外に、母性保護、家庭及び結婚、並びに社會風儀に關する問題等がある。

こゝに労働時間や労働賃銀等について面白い最近の例を掲げて見よう。労働條件や待遇が良く、女性保護の行きとどいたものと誰しも考へてゐるところの亞米利加合衆國に於いて、なほ職業婦人は幾多の問題を持つてゐるものであるといふことがわかる。これは紐育州産業委員會より發刊される「インダストリアル・プレチン」といふ雑誌の昭和六年九月號に所載されてゐるもので同所の労働婦人部に宛てたる投書の二三である。

(其の一)

お役人様

最も悲惨な境遇に居りますものへ、どうぞ御目をお掛け下さいませ。私は××に在る×××會社に勤めて居るもので御座います。

さて、先年のこと、同じ勤め先きで、或る女工監督の下に在つた私の友達が、夜の十時、十一時まで夜業を強ひられました。こんなことは一週に何度もあるので御座いますが、殊に月末になると、その月の分の決算をしなければなりませんので、眞夜中までも遅くなるのが御座います。こう云つたことの度に、直ぐ「君達は何か不眠があるか」と問はれますが、何といつても、そういはれれば喜んで夜通しでも働きますといふ人が他に居るので御座いますもの。

こう云ふ状態で御座いますので、嘗つてこゝの某部の友達が何人も神經衰弱にかゝつてしまひ、二週間も、もつと、休まねばならなくなりました。

つい先んだつてのこと、その中の一人が、隣りの人に頼んで警察へ手紙を書いて貰ひました。そうすると直ぐに、お役人様が

×××會社に来て色々御調べになりました。そしてその訴への事實について難詰しました。そういふ場合には監督は答へますのに、以前は時々そういふこともありましたが、しかしそれは大概、休暇期間に迫つてゐたためで御座いましたと。併し、これはうそです。それは監督さんなどの幹部でなくて、こゝの少女達に聞いて見て、益々それが明るみに出たのでした。

私もこゝに働いてゐるものゝ一人で御座います。それで私は名前を書くことが出来ません。私の地位を取り上げられる恐れがありますから。どうぞ、直ぐ何とかして、この耐えられない状態から御救ひ下さいませ。かしこ

××子

(其の二)

一筆申し上げます

紐育州の労働法では婦人は一週四十八時間とのことで御座いますが、私は××ホテルの傭人を代表して申し上げる次第で御座います。私達の所では一週五十六時間(休憩を含みません)です。これは州の法律に違反しませんでせうか、或るホテルでは一月に二日の休みを呉れ、それに日曜日は朝八時からではなくて、九時から勤務とのこととです。

どうか、貴方様の早速の御注意を喚起致し得ますように。

傭人代表の一人より

(其の三)

監督様

百貨店の方では可成り注意をされてゐるようですが、私達の工場はまるで無視されてゐます。私達みんなは生きねばなりません。そこで、次のことを御耳に入れますが、或ひは御信じ下さらないのではないでせうか。

私はサラリーとして一週十五弗を貰つてやつてゐました。ところが會社では二弗を引いて十三弗にしました。ところが更に、此度、一割方を引いて十一・七弗にしました。それで全部を賄はねばならなくなりました。どんなに少く見積つても、賄費が八弗

です。この外電車賃を出さねばなりません。毎月曜日には制服を代えねばなりません。その代價は〇・一七弗はかゝります。この外に雑費をも加へて御覽下さいませ。これで私達は生活して行かなければなりません。

更に靴代などどういたしませう。こんなことを申しては云ひ過ぎでせうか。いゝえ、眞んとのことなのです。ですから私、思ひ切つて申し上げますが、私の會社といふのは×××會社なのです。

どうぞ私達工場に働くものゝ有様をご覽下さいませ。その報酬など、きつと貴方様は御あはれみ下さいますでせう。これでは私達乙女達を悪い方へ驅る様なものです。必要なものも買へないのですもの。休みの日などはみじめなものです。夏の末頃は土曜日は仕事がありません。それで私達のサラリーは九弗一寸に下つてしまひます。あはれな私達は全くどうしたら良いのでせう。あゝ十五弗でもよろしう御座いますから、一日も早く最低賃銀が決められる日が来ますように。

どうぞ貴方様から御調べ下さいませ。きつと、もつとひどいことを御覽下さいますでせう。

無名草

第四節 最近に於ける職業婦人の趨勢

文藝復興の思想的衝動と産業革命の經濟的變化とが相俟つて諸種の婦人解放思想の勃興を促し、延いては女性の生産機構の關與を誘致したことは曩に述べたところである。

惟ふに最近に於ける職業婦人の出現並びにその増加の趨勢は近代社會の態様を特長づける有力な現象であり、又國民經濟の發達過程上看過することの出来ない重要な事實である。殊に大規模大量生産を特長とする現代産業に於ける職業の分化と分業の發達とは老幼婦女は勿論、既往に在つては不具廢失者として顧られなかつた人々迄も夫々その才能に適した仕事を爲し得られるやうになつた。要之、今日は全人類總動員の時代であつて、これが爲めに生産は驚くばかりの發達を遂げ、生活は向上せられ、文化の加速度的進歩を遂げることが出来たのである。この間に在つて婦人の活動は特に自覺まし

いものがあり、女性の産業上に於ける功績は眞に特筆大書するに値するものがある。我が國に於ける現在の職業婦人の數に就いては既に第三章で略述したのであるが、茲には更にその動態的觀察を試むることに依つて最近職業婦人が如何なる趨勢にあるかを明らかにしたいと思ふ。今全國公私設職業紹介所を通して取扱はれた婦人求職者數を見るに、昭和二年中に五十一萬九千三百三十人であつたものが、翌三年には五十七萬九千七百八十三人となつて六萬六千五百十三人の増加を示してゐる。更に同四年には六十七萬八千九百六十六人となつて前年よりも九萬九千八百八十三人の増加を來し、昭和五年に至つては八十七萬四千五百五十四人となつて一躍十九萬五千八百八十八人の激増を示してゐる。

次に求人の狀況を見ると昭和二年中に六十六萬六千四百八十三件あり、婦人求職者數を超過すること十四萬七千三百五十三件に達してゐる。同三年の求人數は七十六萬六千三百九十九件であつて前年よりも九萬九千八百二十六件の増加となり、求職數を突破すること十八萬六千五百二十六件である。翌四年には求人數八十四萬八千七百八十三件となつて前年よりも八萬二千四百七十四件を増し、求職數を凌駕すること十六萬九千八百七十七件である。更に昭和五年中には右の傾向一層著しく求人數百一萬一千四百七十件となつて一躍十六萬二千六百九十五件の激増を來し、求職數を超過すること十三萬七千三百二十四件に達した。

之に依つて見るも近年職業婦人の社會的進出が如何に目覺ましいものがあるかを如實に知ることが出来るであらう。而も婦人の就職の大部分は雇主側の直接募集乃至は知人の紹介等に依る場合が大多數であつて、職業紹介所を通して就職の機會を得るものはその一少部分に過ぎないことを想ふとき、統計數字に現はれない婦人職業の夥しき需要供給は蓋し驚異に値するものがあるであらう。

左に最近八箇年間に於ける全國公私設職業紹介所に於ける取扱成績を表示して參考に供することとしよう。

公私設職業紹介所取扱成績

(最近八箇年累年)

年 別	紹介所別	求 人 數		求 職 者 數		就 職 者 數		紹介所數
		女	男	女	男	女	男	
大正十二年	總計	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	4,131
	公私設	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	2,100
同 十三年	總計	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	4,131
	公私設	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	2,100
同 十四年	總計	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	4,131
	公私設	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	2,100
昭和十五年	總計	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	4,131
	公私設	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	2,100
同 二年	總計	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	4,131
	公私設	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	2,100
同 三年	總計	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	4,131
	公私設	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	2,100
同 四年	總計	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	4,131
	公私設	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	2,100
同 五年	總計	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	2,361,668	2,351,668	4,131
	公私設	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	1,234,567	2,100

次に東京市内の職業婦人増加の傾向を瞥見するため、便宜上明治四十四年十一月東京市設職業紹介所開設以來の取扱成績を觀るに、經濟界の事情或ひは關東大震災等に依り時に一張一弛は免れないが、大勢として逐年職業婦人が著しく増加しつつあることは首肯するに難くない。

東京市設職業紹介所取扱成績

年 別	求人数		求職者数		就職者数		紹介所数
	女	男	女	男	女	男	
明治四十四年十一月以降	一四一	一六六	三三	六六	三	六	二
明治四十五年	一八一	一七七	一六四	一七三	一	一	三
同 二 年	一七六	一三〇	一六二	一七七	一	一	三
同 三 年	一五五	一〇〇	一〇〇	一〇七	一	一	四
同 四 年	一八八	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
同 五 年	一五五	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
同 六 年	一八〇	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
同 七 年	一八二	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
同 八 年	一八二	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
同 九 年	一八二	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
同 十 年	一〇六	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
同 十 一 年	一八二	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四

同 十 二 年	一八二	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
同 十 三 年	一八二	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
同 十 四 年	一八二	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
同 十 五 年	一八二	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
昭和 元 年	一八二	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
同 二 年	一八二	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
同 三 年	一八二	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
同 四 年	一八二	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四
同 五 年	一八二	一〇二	一四二	一〇九	一	一	四

右の表は東京市設職業紹介所の取扱成績を累年の比較して、職業婦人の趨勢を概観したものであるが、然らば其の他の各種職業紹介機關を通じて一箇年に幾何の女性が職業戦線に志してゐるであらうか。今實質的に見て大東京を形成する郡部の町村をも含む東京府下の公私設並びに營利職業紹介所に於ける昭和五年中の取扱件数に徴するに、婦人求人数は九萬九百十四件、求職者数は九萬九千九百七十八人、そして就職の確定したものは約三分の一の三萬三百七十六人である。

東京府下公私設職業紹介所別取扱成績 (昭和五年)

紹介所名	求人数		求職者数		就職者数	
	女	男	女	男	女	男
總 数 (營利紹介所ヲ含マズ)	20,214	33,388	22,272	33,388	10,014	23,374
東京府 營 業 紹介所	11,414	18,233	11,414	18,233	5,014	13,219
東京府 職 業 紹介所	10,800	15,155	10,858	15,155	5,000	10,155

東京府千住職業紹介所	二〇〇	六三四	一四三	九一四	二〇	二二六
同大島職業紹介所	七七	八〇〇	一四〇	二〇	一〇	一〇
同王子職業紹介所	八〇	三三九	八七	四三	四〇	一〇
東京市營職業紹介所	四六、〇八	二八、〇〇〇	三三、七三	一八、〇〇〇	三三、三〇	三三、三〇
東京市中央職業紹介所	一七、二九	四八、〇〇	一六、〇〇	七九、一〇	三三、七	三三、七
同芝園橋職業紹介所	三、三三	七、一	三、九	一〇、一〇	八、六	一〇、一〇
同大塚職業紹介所	四、七〇	九、七	五、三	一〇、一〇	一〇、一〇	一〇、一〇
同上野職業紹介所	五、〇八	一六、一〇	六、四	一〇、一〇	一〇、一〇	一〇、一〇
同淺草公園職業紹介所	三、三〇	一〇、一〇	三、三	一〇、一〇	一〇、一〇	一〇、一〇
同花園職業紹介所	二、七六	四、四七	二、六	七、七	六、六	六、六
同綠町職業紹介所	一、四四	四、〇七	一、〇	八、〇	八、〇	八、〇
同技術労働職業紹介所	—	六四	—	—	—	—
同麻橋職業紹介所	一、五六	五、四五	一、四	一〇、一〇	一〇、一〇	一〇、一〇
同婦人少年職業紹介所	八、八八	一一、四	二、三	六、四	六、四	六、四
同本郷職業紹介所	一、九	三	二、〇	三、五	三、五	三、五
八王子市職業紹介所	九七	一、三六	四	一〇、一〇	一〇、一〇	一〇、一〇
町營職業紹介所	一七、七	一〇、一〇	一三、一	五、九	七、三	一六、八
龜戸町職業紹介所	七	一、七	一、七	四、六	五、五	七
澁谷町職業紹介所	二、七	四、七	三、三	六、六	七、七	七

澁橋町職業紹介所	一、四	一、九	一、四	二、〇	一、四	一、四
大崎町職業紹介所	二、六	五、三	一、三	六、九	六、九	二、三
千駄ヶ谷町職業紹介所	七、六	一〇、一〇	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一
吾嬭町職業紹介所	二、九	六、八	二、九	三、六	三、六	三、六
品川町職業紹介所	一、六	六、四	一、四	六、六	六、六	六、六
西巢鴨町職業紹介所	二、六	六、三	二、三	六、六	六、六	六、六
代々幡町職業紹介所	一、三	三、三	一、三	三、三	三、三	三、三
小松川町職業紹介所	一、四	三、九	一、三	三、九	三、九	三、九
世田ヶ谷町職業紹介所	六、九	七、七	七、七	八、〇	八、〇	八、〇
荏原町職業紹介所	一、四	一、四	一、四	一、四	一、四	一、四
高田町職業紹介所	四、四	五、〇	四、九	五、三	五、三	五、三
瀧野川町職業紹介所	五、四	八、八	五、九	九、三	九、三	九、三
日暮里町職業紹介所	三、四	四、一	三、四	四、一	四、一	四、一
中野町職業紹介所	六、八	七、四	六、八	七、四	七、四	七、四
目黒町職業紹介所	一、九	二、四	一、九	二、四	二、四	二、四

公共團體職業紹介所

東京基督教青年會職業紹介所	五、三	六、〇	七、四	八、一	八、一	八、一
救世軍努力館職業紹介所	六	一、七	六	一、七	一、七	一、七
救世軍月島職業紹介所	七	一、七	七	一、七	一、七	一、七

第一章 職業婦人の諸問題

以下、その中から最も興味あるもの二三を抜いてみよう。

イ、世帯構成

求職婦人の現住世帯の構成は如何なる状態であるか。人員別構成状態に就いて、これを観るに左表の如くなる。すなはち、五人世帯が首位を占め總数の二四・〇三%で、一千三百八十九人である。その次が四人世帯の二三・〇〇%、一千三百二十九人で、最低が九人世帯である。尙總世帯人員の一世帯平均人員は三・九九人である。

府職業紹介所に殺到した求職女群



世帯構成人員表

世帯構成人員	自分二人	二人	三人	四人	五人	六人
世帯数	九四	三〇	七九	一三九	一六八	七六
割合(%)	一・六三	三・六三	一・三四	三・〇〇	三・四三	一・三〇
世帯構成人員	七人	八人	九人	十人	不明	合計
世帯数	三九	六	三	一	一七	五七六
割合(%)	三・三三	一・一八	〇・四九	〇・一六	一・〇三	一〇〇・〇〇

ロ、家族構成

各世帯人員の家族関係を調べて観ることは極めて興味あることである。これに就いては、父母、兄、姉、弟、妹、祖父母の順位で、父母兩者を有するものが最高で、兄、姉、

弟、妹が之に次ぎ、祖父母兩者を有するものが一番少い。また、祖父母の場合、父母の場合何れか一方が缺けたるものについては、ともに男子の缺けたるものゝ方が女子の場合に比して三倍も多いといふことは注意すべきことである。すなはち、父又は祖父を失つてゐる方が多いのである。

家族構成表

家族			家族有無			人員			割合		
祖父	父母	兄弟	祖父	父母	兄弟	祖父	父母	兄弟	祖父	父母	兄弟
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
不無二三	不無二三	不無二三	不無二三	不無二三	不無二三	不無二三	不無二三	不無二三	不無二三	不無二三	不無二三
キ人人	キ人人	キ人人	キ人人	キ人人	キ人人	キ人人	キ人人	キ人人	キ人人	キ人人	キ人人
モ以以	モ以以	モ以以	モ以以	モ以以	モ以以	モ以以	モ以以	モ以以	モ以以	モ以以	モ以以
明ノ内上	明ノ内上	明ノ内上	明ノ内上	明ノ内上	明ノ内上	明ノ内上	明ノ内上	明ノ内上	明ノ内上	明ノ内上	明ノ内上
五、七六	二、六五	二、六五	五、七六	二、六五	二、六五	五、七六	二、六五	二、六五	五、七六	二、六五	二、六五
一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇

ハ、家族中働く者

現住同居家族中、「働く者」について調べて観るに、父のみ働く家庭が絶対多数で、二千八百七十七人で總数の四八・七五%を占めてゐるが、次は兄のみ働くといふのが一千九十八人で二〇・七三%である。父と兄とが働くといふのが四百二

家族中働く者の表

働ク者	人数	割合
父	一、五七九	一〇〇%
兄	二、一八七	四〇・八%
姉	一、四〇九	二七・七%
母	四、二二八	八〇・〇%
兄	一、一〇四	二一・四%
父	一、三〇七	二六・七%
兄	一、一〇七	二二・四%
共	三、三〇〇	六五・一%
不働ク者	五、五七六	一〇〇%
明シ	七、六五七	一〇〇%

希望勤務種類表

希望勤務	人数	割合
總子數	一、五七九	一〇〇%
賣子	一、三〇七	八三・三%
食堂	一、五七九	一〇〇%
不働ク者	四、二二八	七四・六%
明シ	三、三〇〇	六三・八%

最近の職業婦人の趨勢については、右によつただけでは勿論甚だ不十分たる詳りは免れないが、しかし大體の傾向を示し得たものと思ふ。

人で六・九六%、更に母のみといふのは二百四十二人で四・一九%、兄と姉とが六十二人で一・〇七%となつてゐる。
 之によると父のみが働く家庭は總數の約五〇%を占め、他は兄と姉、母の働く家庭が比較的が多いといふことを示してゐる。

二、希望する勤務の種類

本調査の對象は三大百貨店への就職希望者だからして、勤務先の職場については自ら限られてゐるが、しかし百貨店の何處に勤めたいか、といふことはかなり近代の娘氣質を示してゐると思ふ。

まづ第一は賣子で、三千五百四十八人、總數の六割一分強に當つて斷然多い。次が食堂で、一千四百十三人で、約二割である。而も事務が三百九十七人、雑役が二百五十二人となつて、グツと少くなつてゐる。

以上によつて百貨店の「求職者の環境」の一端を知り得たわけであるが、やはりこゝにも一般の現代職業婦人の傾向を示してゐると思ふ。

第二章 職業婦人調査の計畫及び方法

第一節 調査準備

最近職業婦人の激増と之に伴ふ婦人問題の簇生とは、彼女等の生活實相を究め、その動向を明瞭ならしむることの必要を痛切に感ぜしむるに至つた。這是單り社會政策上、都市行政上、或ひは又經濟經濟上の見地よりして然るのみでなく、生活戦線に立つ全國數十萬の女性自身の向上の爲めにも亦緊要缺くべからざるものである。於此、本市は難事中の難事たる職業婦人調査の計畫を樹て左記要項に依つて之を敢行したのである。

- イ 調査期 日 自昭和六年三月二十一日 至 同 二十一日
- ロ 調査 範圍 東京市内所在使用職工數三十人以上若しくは三十人以上を使用し得る設備を有する工場及び公稱資本金五十萬圓以上の會社の本支店出張所に勤務する婦人
- ハ 調査該當豫定人員 約二萬人の見込

而して調査の客體を右の範圍に屬する婦人に置くは勿論であるが、尙一步を進めて雇傭主側に就いても附隨的の調査を行ふの必要あるを認め、調査用紙を甲號及び乙號の二種類とし、大略左記の事項に就いて照會することとした。

其の一 調査票 甲號 (雇傭主側)

イ 事業種類
採用方法

ロ 募集方法

ハ 勤務時間
勤務時間
休憩時間
公休日

ニ 待遇
給料
職務別

ホ 勤務関係
仕事の種類
勤続年限
就職の目的
就職の方法
初任給
就職の日
公休日数
通勤方法
健康状態
就職年齢

ト 生計関係(支出)
被服費
食費及住居費
家計補助
交通費
修繕費
娯樂費
貯蓄費
其の他の雑費
合計

チ 備考

休暇
一般の休暇
特別の休暇
夜業の有無
昇給期間
平均
最低
最高
手当
臨時手当
賞與
婦人従業者の長短
婦人従業者の長所
婦人従業者の短所
婦人従業者への希望及び感想
備考

轉職の度數
仕事に對する希望
仕事に關する感想
一箇年平均一箇月
収入支出關係
給料
手当
賞與
家庭其他より
の扶助
其の他の收入
計

無料醫療機關
修養娛樂機關
共濟互助機關
其の他

昇給期間
平均
最低
最高
手当
臨時手当
賞與
婦人従業者の長短
婦人従業者の長所
婦人従業者の短所
婦人従業者への希望及び感想
備考

其の二 調査票 乙號 (被傭者側)

イ 勤務先の名稱
ロ 勤務先の所在地
ハ 勤務先の主なる業務
ニ 家庭關係
年齢
職業
住所
配偶關係
子女
學歴
休日の利用方法
趣味

ホ 勤務關係
仕事の種類
勤続年限
就職の目的
就職の方法
初任給
就職の日
公休日数
通勤方法
健康状態
就職年齢

ト 生計關係(収入)
轉職の度數
仕事に對する希望
仕事に關する感想
一箇年平均一箇月
収入支出關係
給料
手当
賞與
家庭其他より
の扶助
其の他の收入
計

チ 備考

東京市統計課
婦人従業者調査票 (甲 號)

記入月日 月 日

事業種類
採用方法
募集方法
勤務時間
休憩時間
公休日

職業
住所
配偶關係
子女
學歴
休日の利用方法
趣味

生計關係(収入)
轉職の度數
仕事に對する希望
仕事に關する感想
一箇年平均一箇月
収入支出關係
給料
手当
賞與
家庭其他より
の扶助
其の他の收入
計

備考

附記

調査票(乙號)に就いては三八頁
所載の趣意書に掲げられた雛形を
参照せられ度し

(表) 書 意 趣 查 調

附記 調査趣意書 内容一

職業婦人の出現並びにその増加の趨勢とは正しく近代生活の態様を特長づける有力な一つの社会現象であり、又今日尙産業革命の波に漂ひつゝある我が國民經濟の發達過程上看過することの出来ない重要な一事實でもある。

惟ふに所謂職業婦人の發生はこれを社會的原因と婦人自身の外的乃至內的原因とに依るものと觀ることが出來よう。即ち社會的原因とは經濟社會の進化と資本主義制度の確立とが兩々相俟つて企業經營の大規模化及び分業の發達を促し延いては從來男子獨占の状態にあつた實業界をして婦人の性能に適した業務部門に就いて、その門戸を開放せしむるに至つたことを意味する。

又過去半世紀間に於ける泰西文明の輸入は徳川三百年太平の夢回らかであつた我が國社會各般の事象に著しい影響を與へ、慾望の増加、社會生活の複雑化等に依る生活程度の上昇は、家庭經濟の上に著しい壓迫を加ふるに至り、從來の家長若しくは家族の副業等に依る所得のみを以てしては、その収入の均衡を得せしむることが困難となつたのである。之れ婦人を家庭から街頭へ送り出した主なる外的原因である。

次に職業婦人發生の內的原因とは近代女性の自覺に他ならない。激甚な生活戦線に男性と伍して雄々しく活動してゐる現代女性の姿

東京市長 永田秀次郎

東京市歌
私達の生活
私の工場服装

東京市銀行 調査員 永田秀次郎

附記 調査趣意書 内容一

産業の振興と婦人の自覺

東京市長 永田秀次郎

職業婦人の出現並びにその増加の趨勢とは正しく近代生活の態様を特長づける有力な一つの社会現象であり、又今日尙産業革命の波に漂ひつゝある我が國民經濟の發達過程上看過することの出来ない重要な一事實でもある。

惟ふに所謂職業婦人の發生はこれを社會的原因と婦人自身の外的乃至內的原因とに依るものと觀ることが出來よう。即ち社會的原因とは經濟社會の進化と資本主義制度の確立とが兩々相俟つて企業經營の大規模化及び分業の發達を促し延いては從來男子獨占の状態にあつた實業界をして婦人の性能に適した業務部門に就いて、その門戸を開放せしむるに至つたことを意味する。

又過去半世紀間に於ける泰西文明の輸入は徳川三百年太平の夢回らかであつた我が國社會各般の事象に著しい影響を與へ、慾望の増加、社會生活の複雑化等に依る生活程度の上昇は、家庭經濟の上に著しい壓迫を加ふるに至り、從來の家長若しくは家族の副業等に依る所得のみを以てしては、その収入の均衡を得せしむることが困難となつたのである。之れ婦人を家庭から街頭へ送り出した主なる外的原因である。

次に職業婦人發生の內的原因とは近代女性の自覺に他ならない。激甚な生活戦線に男性と伍して雄々しく活動してゐる現代女性の姿

こそ一九三一年の若き日本の象徴である。經濟的自由を叫び、婦人公民権の獲得を要求する昭和女性は今や封建社會の舊殻を完全に脱し、數世紀に亘る傳統の絆を斷ち截つて明るく朗らかな生活意識に目覺めたのである。斯くして彼女等は各自思ひ／＼に或ひは會社に、或ひは工場に、或ひは、官公廳に進出して立派に社會人としての役割を演じつゝある。

現代産業に於ける職業の分化と分業の發達とは、老幼婦女は勿論既往に在つては不具廢疾者として顧られなかつた人々迄をして、夫その才能に適した仕事を任せしめるやうになつた。要之、今日は全人類總動員の時代であつて、爲めに生産は驚くばかりの發達を遂げ、生活は向上せられ、文化の加速度的進歩を成し就けることが出來たのである。この間に在つて婦人の活動は特に著しいものがあり、女性の産業上に於ける功績は眞に特筆大書に價する。

事情斯の如くして婦人の社會的地位は近き將來に於いて著しい變革を來すであらうといふことは想像するに難くなく、従つて復興成りし我が帝都産業の振興も女性の活動に俟つところが大である。

此度本市が執行する『婦人従業者の調べ』は職業戦線に雄々しく活動しつゝある是等の女性が現在の産業界に如何なる状態に在るか等の諸實相を究め、以て其の動向を明瞭ならしめんとするものであつて、這是社會政策上、都市行政上、將又經營經濟上より觀て緊要缺くべからざるものである。

然も此の種の調査は極めて困難であつて、當事者が如何に周到なる注意と獻身的な努力とを以てしても、調査される方々の完全な理解と熱心なる同情とが無かつたならば有終の美を成すことは期待出來ない。私は諸婦が愛市中心の進りから、又婦人自身の向上の爲めにこの大調査をして意義あらしめ、赫々たる成果を結ばしむる爲め熱誠なる援助を各まざらん事を衷心切望して熄まない次第である。

職業婦人と保健

至誠堂病院院長
女子醫學專門學校長

吉岡彌生

職業婦人は現代の經濟組織に於きましては必要缺く可からざるもので、製絲紡績の如き纖維工業では、其の數に於いて遙かに男子を凌駕し、重要な使命を果して居るのでありますから、今後一層研究すべき問題たるは云ふまでもありません。

従來婦人は一定の準備なく職業婦人となり、雇主の側に於いても男子に比し、一般に賃銀の廉き故を以て雇傭する状態でありました。これが健康を害する原因となるのであります。一家内の仕事は精神の過勞なきも、一步家庭を離れ、職業婦人となれば、同輩の交際、職業に對する熟練などを要し、肉體は勿論精神の非常なる疲勞を來すものであります。

雇主も兎角過度の勞務を強ひ、榮養に關する智識の如きも甚だ乏しい傾向がありました。又家庭に歸りましても、家庭内の雜務の爲め男子に比し、睡眠を取る時間が甚だ少き有様であります。ですから職業を持つ婦人は、是非とも一定の休養をなし、贅澤なる食物より營養價値の高い食物を取り、雇主の側に於いても職業婦人に對し充分の理解を持つて、此等の點に注意すべきであります。

男子には一般に昇進の道が開けて居るが婦人には開けて居ない。今後の婦人は職業に對する熟練、言葉を換へて云へば、自分の持つ職業に對し趣味を持ち、種々なる工夫を圖り、向上心を持つて、假令結婚しても職業を離れない事が大切と思ひます。これが爲めには雇主の方々も、この點に充分理解を持つて戴きたいものです。既婚職業婦人は、肉體關係及び家庭などの關係から一般に能率が下るのですが、雇主の方々はこの點を了解し、午前或ひは午後の半日勤務にして、婦人をして家庭生活に於ける無味乾燥なる生活より解放し、既婚婦人に常識と健康を與ふる機會を得せしむる事が職業婦人に對し最も必要かと思ひます。

家庭生活と職業との調和

日本女子高等商業學校々長 嘉悦孝子

最近婦人の社會的進出は誠に目覺しい勢ひでありまして、數日前の新聞にも今年度の各市内デパート従業員採用は大部分婦人にする

方針であるといふやうな記事が出て居りました。これは一面婦人の社會的地位が認められて来たことを立證するものでありまして日本女性のために慶賀に堪へないことであります。

唯私共職業に携はるものゝ考へなければならぬことは婦人と家庭との關係でありまして、從來動もすれば婦人が職業に就くと家庭を顧みないといふ様な傾きのありましたことは誠に遺憾千萬でありました。

惟ひますに婦人の天職は何と申しましても家庭の仕事と、次の時代の國民を養育することでありまして、之は洋の東西、時の古今を問はず共通して渝らない眞理であらうと存じます。唯現代の生活様式は日に／＼簡易化され、延いては婦人の生活の上にも著しく時間的の餘裕が生じて來ました爲め、從來消費者の立場のみにあつた婦人が、今日に於いては一面生産者としても社會に貢献することが出来るやうになつたのであります。

言ひ換へますれば今迄社會の富を費ひ減らしてばかりゐた婦人はこれを増やす仕事にも參加することゝなつたのであります。

而し家庭から街頭へ出て働く婦人も始終家庭を忘れてはならないのです。仕事に出掛けるときも、先づ家庭のことを整理して、若し學校へ通ふお子さんをお持ちの方ならば、お子さんと一緒に家を出る、そして一日の仕事が終つたならば、早く一直線に自分を待つ家庭に歸るといふことにしたいものです。斯くして始めて家庭と職業との關係は圓滿調和を保つて幸福に満ち溢れた生活が生れるのであります。

次に婦人が大切な天職を果すと同時に、更に一步進めて社會的に活動する以上は、何かその足跡を地上に残す事を心掛ける必要があります。同じ工場の仕事をするにしても、唯機械的に働くといふことではなく、自分は一紡績工であつても、或ひは一製菓工であつても社會の一員として經濟的に貢献してゐるのである。行く／＼は適當な機會を得たならば會社の幹部重役にもなつて、一層自分の才幹を發揮し、より大きな社會的貢獻をしなければならぬといふ位の覺悟が必要であります。唯漫然と其の日／＼を送つてゐるばかりでは折角これ迄進んだ婦人の地位も自然退歩するの外はありません。

私は現代の職業婦人が、はつきりと自己の社會的責務を自覺し、自己の生活を樂しみ、一個の見識を以つて事にあたりましたら、從來のやうに女工とか、女給とかいふ言葉に含まれる卑しめられた觀念を完全に消滅させることが出来るかと確信いたします。そしてこれを實現させることは諸姉の御心掛け一つに懸かつて居ります。私共は常に仕事の餘暇には學び、子供を養ひつけた後では何か自分向上を圖るといふことに努め、又工場や事務室に於きましても各種の機關を通じて一身の修養を怠らず、一日一日自己完成に近づくことを心掛なければならぬと存じます。

最後に此度東京市役所で行はれます『婦人従業者の調べ』は私共婦人のためには願つてもない結構な御計畫でありまして、皆様方が舉つてこの事業を援助せられ、婦人の向上のために裨益する立派な調査が完成されますことを希望いたします。

職業婦人の經濟的地位と結婚問題

評論家 市川房枝

現在の様な社會に於いては、生活の必要上から、又は辛うじて生活は出來ても、少しでも文化的な生活がしたい爲めに職業を持つ婦人がだん／＼殖えて行くことは當然の事と言へませう。そうして一方資本金家の従順な、そして出来るだけ安い人を雇うといつた態度は愈々之を助長してゐますから、今後は益々増して行くでせう。

婦人の人格の獨立は、現在の様な社會に於いては、先づ經濟的に獨立しなければ不可能だと考へてゐる私としては、此傾向を寧ろ良いことと思つてゐます。そうして其の爲めに更に婦人に各種の職業が開放されるやう、又職業教育の機會も男子と同様に與へられる様望みます。尙賃銀も同一労働に對しては、同一の額を與へられる様に主張せんとするものです。

併し、之れは婦人の立場からだけみた云分ですが、社會全體から見れば、男の失業者で困つて居るのですから、果して此の婦人の要求を容れることが出来るかどうか問題となつて來ます。既に婦人の失業者も多數あるし、又求職者で就職の出來ないのもあります。

ら之れ以上職業婦人が増せば結局男子の職業を奪つて、男女間の闘争となりませう。未だ日本では公の問題とはなつて居ませんが、獨逸や英國に於いては盛んに議論され『婦人を家庭へ歸せ』と云つた事が叫ばれて居る様です。

婦人が家庭へ歸つても文化的生活が充分出来るだけ夫の収入が増されれば、一切の問題は解決されませう。それから婦人の家庭で扱つてゐる消費經濟の價值が、夫の外でして居る生産經濟と同様に價值づけられれば幾分いゝでせう。併し之等は現在の經濟組織では一寸不可能と思はれます。

行詰つた社會の下に苦惱してゐる現代人は結婚問題に就いても色々新しい方向に進まうとしてゐますが、その是非は暫らく置いて少くとも結婚を生活の手段とするといふ考へ方は現代女性の採らないところでは、従つて自活の出来る職業婦人となり、經濟的に獨立して居る事の自由さ、氣輕さから結婚を急がない事になり、機會を逸すると云つた事はたしかにありませう。

尤も之と反對に毎日男の人達と自由に接觸できる關係上、却つて結婚に導かれ易いといふ事も云へませう。同僚と結婚する、さうして其縁ぎをすると云ふ事は、現在の職業婦人としては結構な事だと思ひます。併し男と自由に接觸する事は、同時に誘惑の機會ともなり墮落に陥ることゝもなり易いし、雇傭主、上役の人から強制的に貞操を蹂躪されて居ると云ふ事實なしとも言へません。

獨りで下宿して通勤して居ると云ふ様な場合には、前述の様な場合に遭遇し易いので、これに對しては、公共團體か或ひは法律かの力に依つて適當に保護誘導すべきだと思ひます。

其縁ぎも、子供のない中はよるしいが子供が出来たら仲々困難です。結婚したり、子供が出来たりすると能率が下るので、免職する事も英國米國あたりではありますが、之れも生活の問題に係つて來ます。生活の爲めに働かなければならない母親の爲めには、託兒所の完備したものを設ける必要も有ります。

職業婦人は如何なる信念と覺悟を要するか

三輪田高等女學校長 三 輪 田 元 道

我が國の婦人は、徳川時代までは男に従ふもののみで、積極的に自ら働くといふ事は、たゞ家事遊藝にいそむばかりであつた。それは武家、地主、商人の深窓に育つ子女は、働く事を賤しんで、浮世の荒波の外におかれてゐた。この當時の日本總人口は二千四五百萬程度であつたから、生活苦といふものがさまで深刻ではなく有閑階級と勞働者の區別がはつきりと分れて、それで問題はなかつた。然るに、明治、大正、昭和と時勢は移つて、人口は已に八千萬以上となり、歐米諸國の制度は輸入されて、國民思想上にも一大變革が起つて來た。自ら働かないのは名譽ではなく不名譽であり、自己を侮辱するもので働かざるものは喰ふべからず、といふ事が一般人の信條となつて、精神的になり肉體的になり、その人分相應に働く事が義務であると考へるに至つた。

元來日本が過去半世紀に驚異的進歩を遂げた事は、日本の婦女子が舊習より脱して、夫れ相應に働きはじめたといふ事に緣由する事が大である。而して消費經濟は勿論生産經濟にも女が大いに力を致す様になり、従つて今迄男性の獨占となつてゐた諸種の權利が、男より女へと次第に擴張されて婦人の地位は認められ、婦人進出の氣運は助成されて來た。元來、女は男より安く働き、細かい仕事には寧ろ、男より適當である。之が所謂職業婦人の誕生した所以である。

瀬戸内海沿岸の民謡に、次の如きものがある。

雨よ、嵐よ、今宵は許せ

かわい男が、船出する

かゝる女子なればこそ、いざ事が起つた時は、後顧の憂ひなく男をして、自己の天職に専念せしむる事が出来るのである。

かくの如く、婦人の進出が盛んとなつた事は國家の爲め大いに賀すべき事であつて、男子と協力して社會をよりよく向上せしむる事は歓迎すべき事である。

終りに一言注意すべきは、境遇、趣味、實力の適當な所に職を求むる事を原則としなければならぬといふ事である。凡ての女子が家庭を飛出すといふが如きは、あり得べからざる事であり、あつてはならぬ事である。家事に従事する女性も廣義の職業婦人であつて、此の家を修め、子弟を教養するといふ事は、婦人第一の天職であつて、之を忘れて他に職を求むるが如きことはあつてはならない。

此度市役所で行ふ職業婦人調査は今迄一般に知られてゐない職業婦人に關する各般の現象を明らかにし、以て採るべきを探り、更に婦人の向上の爲め、國家社會の健全なる發達の爲め各種の企畫經營に資せんとするものであつて、最も機宜に適した事業であると思ふ。私は實社會に活動せらるゝ婦人がよく本調査の趣旨を理解せられて、此の意義ある調査をして赫々たる成果を收めしむる様御援助あらむことを切望するものである。

來し方行末を顧みて

白木屋呉服店

水

城

春

壽

いくたびか靜かに考へました揚句、これが自分の行くべき道と信じまして、東京驛から始めて店(白木屋)へ通ふ歩道を歩きました當時は、自分の存在が不思議な氣もちでながめられました。

それはつい此の頃のやうに思はれますけれど、もう二年にならうとして居ります。はじめて社會へ出ましたやうな私には、總ての事が皆新しく教へられる事ばかりで御座いました。

たゞ漫然と過して居りましたやうな私が本氣で自分を見る事が出来、周圍の人達との交渉も自分には貴い經驗となりまして、眞面目

に人生を見つめながら一足づつでも進む事の出来ますやう心から祈りました。現在では總て自分にあたへられた使命と思ひまして自分の小さき力を信頼し、勇氣と努力とを以て、感謝しつつ働いて居ります。

朝は子供達と前後して家を出ますが、子供達が學校から歸りました時、母の居らぬといふ事はどんなに物足らぬ思ひをする事だらうと氣の毒に思ふ事が御座いますけれどそれが爲めに、まさか踏み迷ふやうな事はなからうと子供の心を信じて居りますが、どうか三人の子ども達がなごやかな氣もちで正しく生きて行けますやう、それがたゞ一つの願ひで御座います。

黎明時代の日本女性

女 優

森

律

子

今日は丁度帝劇開場二十年祭がございまして、私の過去半世の舞臺生活にとりましても意義深い日なのでございます。

私の少女時代には普通の家庭の子女が進んで職業に就かうなどいふ考へを有つものは一種の異端者扱ひにされたものでございまして、この點今日と比較いたしますと實に隔世の感がございまして、

それでも跡見女學校を出ます頃の私の胸は、將來への希望、満たされた人生への憧憬、といふやうな感情で一杯でした。今迄のやうに女は只社會と没交渉な家庭の中の生活だけに甘んじてゐてよいであらうか？ 男子にのみ頼るといふ封建的な思想から離脱して、何か女として應はしい社會的な仕事に活きる途はないものであらうか？ そこで第一に私の心を捉へましたのは父の職業でありました辯護士でございました。

然し日本の現在の制度では未だ女は辯護士にはなれませんので辯護士の秘書を志望致しましたが、これも色々の支障がございまして實現不可能に終りました。偶々帝劇女優第一期生の募集がございましたので、幼い時からお芝居が大好きでありました私は、こ

れこそ自分の終生の仕事であると固く念じ、茲に自分の將來の光明に満ちた活路を見出した思ひをしたこととございました。そこで嚴格な両親に百方頼み込み、色々の條件附で許可を得たのでございます。

爾來舞臺生活に入りましてから二十年の歲月は、嬉しいこと、悲しいことが交錯して夢のやうに流れたのでありますが、藝道への精進、自分の生活の完成への脚心は一日として忘れることはございません。近頃職業に携はる婦人の方々の勤続年限が、結婚生活への轉換の爲めに大變短いといふことを新聞で拜見致しましたが、これは私共の生活様式が複雑過ぎる爲めに、一度主婦となると家庭に束縛されて折角多年の苦心の結果伸ばした自分の天分を、持ち腐らせて了まふ結果になるのではないかと考へられます。

従つて婦人の社會的進出を一層合理的にするためには、先づ家庭制度に改善を施す必要があると同時に、婦人自らも職業は單にお嫁入仕度やその他の經濟上の手段のためといふ考へから、自己の生活を意義あらしめるため、社會人としての義務を果すためといふ域にまで自覺することが必要であると存じます。

それから婦人が生活意識に目醒めるためには、その前提要件として技術的にか或ひは智的にか、何か一つのものを持つといふことが必要であると考へます。

例へばお嫁入りするにしても、今日では幾棹かの筆筒長持よりも、形式一片の學校卒業證書よりも、この身について生涯離れない力の方が遙かに尊いものでございます。去る歳の大震災の折、私は病床にある老母と、私の愛し子として育て、居ります姉の遺兒姉妹と共に築地に住んで居つたのでございますが、一同生命から、宮城前の楠公の銅像のところへ避難いたしました。

その時灰燼と歸した自分の一切の持ち物などは少しも惜いとは思はず、又自分の前途に就いても何等失望は感じませんでした。私は刷れ壞れて廢墟のやうに沈黙を守つてゐる帝劇の建物の上に、蒼白い月の懸つてゐる光景を眺め乍ら心の中で申しました。

『有難いことだ自分達家族には怪我人もない。自分は未だこの世の中で働かせて貰へるのだ——これから凡ての建直しだ。失はれた過去一切のものも一生懸命働かさへすれば復取り返されるのだ!』と。私はあの場合私の心を落付かせ、私を鼓舞して呉れたものは自分の天職であつたと固く信じて居ります。近來婦人の方々の目覺ましい社會的進出に伴つて種々の運動が起つて居ります。例へば婦人參

政權獲得の運動などもその著しい現はれの一つでございます。

新聞紙の報導に依りますと今度の議會(第五十九議會)に提出されました婦人公民法の議案は委員附託となつた相でございますが幸ひにしてその通過を見、直ちに實施されたに致しましたが、果して充分にその實績を擧げることが出来るでございませうか。

世に『猫に小判』といふこともございます通り、私は折角頂いたお寶を無駄にするやうな事になりはしないかと恐れます。多年の傳統に培はれた考へを改めることは仲々一朝一夕のことでは不可能で、夫れには私共の進歩的な思考力を涵養することが先決問題ではないでせうか。もう十八九年も昔になりませうか、私が英國へ参りまして倫敦の某博士のお宅に寄寓致して居りました頃丁度婦選運動が最高潮に達してハイドパークや、リージェント、パークなどで婦人の方々の熱狂振りを拜見して、老婦人の方々が眉をひそめながら色々と説明して下さるのを聞いたことを記憶して居ります。私もその當時は充分這ういふことは分らなかつたのですが、早く言へばあちらには獨身の御婦人が澤山あつて、この方々は男子と同様に働いて居り乍ら參政權を與へられないといふことは不合理であるといふ點に主張の論點が置かれてゐるのだと伺ひました。英國は世界大戦中各方面で婦人が華々しい活動をし、立派な功績を残した結果遂に參政權を獲得いたしました。私共も社會的地位が認められれば認められる程、益々自分の義務責任の重大なことを自覺して、完全な準備を整へます様大いに學び、又大いに努めなければならぬと存じます。

女性王國を讚ふ

陽春四月花爛熳として大地を美化するとき、人は行樂に酔ひスポーツに躍る、傳統と迷妄と憂鬱の
 長き冬眠から醒めた一九三一年の日本婦人の明るく朗らかなる女性王國禮讚の行進曲を聴け!
 春、春、春……

記者生活二十年の回顧

矢島梓子先生の主宰せられて居りましたミツシヨン・スクールを卒業いたしました明治四十四年の春から、今日までの前後二十二年に亘る多忙な記者生活を顧みますと、ほんとうに世相の移り變りの激しいのに無量の感があります。

私が新聞社に入りました當時はまだ婦人の職業が兎角卑められて居りましたので、毎日の仕事にも辛いこと、苦しいこと、悲しいことがございました。就職當時は主として外人との面會の仕事を担当しましたが、外國の方々の方が遙かに理解がありまして、訪問なども餘程樂でございました。

これに反して、一昔以前の日本の社會は門閥とか傳統的的地位とかいふものが、まだ、非常に重要視されて居りましたこと、一般の方々が新聞記者に對して一種の偏見を持つてゐましたために、所謂名流婦人とか貴婦人とかいふ種類の方々に面會することは並大抵の苦心ではありませんでした。その代り二度三度と足を運んで漸くの思ひで目的を達した時の喜びは全く何事にも譬へ様がなく、ほんとうに心の奥底から嬉し涙が溢み出る位でございました。

世間の方々は婦人記者といふと如何にも華やかな望ましい職業であるかのやうにお考へになりますが決してそんなものではなく、どんな職業でありまして仕事に高下の差別のある筈はなく、又良い悪いといふ區別の存在するわけがありません。數年前迄は婦人記者といへば立派な服装をして、各方面の社交界の中を縫つて歩く職業といふやうに見られて居りましたが、實際は身分不相應な服装でもしないと面會が出来なかつたからでありまして、今日ではそんな滑稽な誤解は全然なくなりました。

又今尙職業婦人といふ名前をお嫌ひになる方々が實際に社會で働いてゐる方々の間にもあることを不思議に思ひます。私は曾つて一度もさういつた考へを抱いたこともございせんし、寧ろ他人の力に縫つて生活してゐるのではないといふ一種の潜在的な誇りの氣持さへも致します。兎に角婦人の職業といふことに就いては一般の方々には勿論、生活戦線に立たれる方々も徹底した理解を持つて戴きたいと思ひます。

私の如きは既に過去の時代の人間でありますから、却つて今日のお若い方々から色々教へられる事が多い位です。従つて別に纏つた意見、主張といふものも持ち合せて居りませんが、この頃のやうに婦人が次第に街頭へ出て勇ましく活動される姿を見ますと、何となしに非常な力強さを感じないわけにはまゐりません。

女店員生活讚美

三越呉服店 大 島 八 子

母と私と二人の妹を残して父は死亡しました爲め私の肩に一家の經濟を背負はねばならぬ破目になつたので、大正六年に初めて三越の本店で働かせて頂くことになりました。其れからと云ふものは母の鞭撻に依り姿態構はず世間の蔑みも外に、一意勤めを大切に努力いたしました。そして次の妹を女學校に入れて卒業させ、今はやはり三越で働いて居りますし、三番目の妹は體質が弱かつた爲め高等小學校の一年を修了後東京工科學校の製圖科を卒へて、今は家事の手傳ひをして居ります。私の信仰と云つても只淋しい時は救世軍の説教を聞いて心の慰安を求めたりお稻荷様を信心する位の事です。尙結婚と云ふことですが多くの方は家庭の事情で婚期が遅れる様ですが中には私共の様に男の方と一緒に働いて居りますと、其の間に種々の男性の缺點を見せつけられる結果、考へさせられますので自然と婚期を失ふ方もある様です。私は五年前夫を有ちまして今では二人の子供の母ですから、何ですか近頃では此二人の子供に財産を遺してやりたいと云ふ様な考へも出て参りました。兎に角世の中と云ふものは心の持ち方一つでそんなに憂くも、辛ひものとも考へられません。常に正しく強く明るい氣持で生きて行けば神様は自然恵みの御手を私共の上にお授け下さると思ひます。

殊に婦人の地位が社會的に認められて参りました今日では假令どんな運命の籤を引き當ても決して悲觀したり自暴自棄になつたりする必要はないと信じます。

子供三人を成功させた保険勧誘員の實話

明治生命保險會社

野崎はつ

私は北海道の片田舎に生まれましたが三歳の時父母に別れまして、其の後は北海道の某旅館の伯母さんに預けられました。

それから伯母さんは私の將來の事を色々心配してくれまして小學校を卒業すると十六歳の時、野崎家に嫁しましたが、之れも東の間數年後夫に死に別れました。それで私も三人の子供を連れ一時は路頭に迷ひましたが、何時もこんな事ばかりして居ては可愛い子供の教育は愚か、自分の生活も出来ないからいつそ東京に出て子供に一人前の教育を施すまで働かうと決心しまして僅かの資産を金に代へて上京致しました。其れから二三年は小賣商もやつて見ましたが、とても小賣商では一家四人の生計を立つる事が出来ませんので、今度は方針を變へて自分の努力次第で金儲けの出来る生命保險の勧誘をする事に決心致しました。さうして子供達は苦學をして中學に通ひ、其の中長男は學校を卒業致しまして某會社に勤める様になりました。

私が保險會社に勤め始めましたのは大正十年頃でして、最初は旭日生命に三箇月勤め、後東華生命に移つて其所では三年間程働き、續いて安田生命に六年程勤めましたが或る事情の爲め安田を退めまして、現在は明治生命に勤めて居ります。

昭和五年には一般財界不況の餘波を受けまして収入も減り一箇月平均百三十圓位の程度となり、其の内小使ひ其の他の諸雜費等で月五十圓位は費します爲めに實際の収入は極々僅かであります。而も保險の外交は男子の方でも婦人の方でも逆も容易ではありません。

私は家庭に於きましては子供の爲め相當多忙ですが、外へ出ますと家庭の事をすっかり忘れて了ひ、出来るだけ働いて歸ります。其の日の仕事が終わると早く歸つて子供達を喜ばしてやりたいと家路を急ぎます。家に歸るとまあ今日も無事で良かったと神佛にお禮しま

す。でも私が少し遅く歸ると子供達は心配してお母さんは如何なされたでせうと泣いて居る事も度々ありました。少し早めに歸つて來ると子供達が皆玄關に出迎へて喜んだりお土産をねだつたりしました。かういつた目まぐるしいばかりの多忙な生活を朝に迎へ、夕べに送つて十年の歳月が過ぎましたが只今では子供達も全部成長致しまして、長男は澁谷の方で薪炭業を營んで居り、次男は市内の某商會に勤め、三男は明治大學在學中です。

斯くして私は今日迄まがりなりにも初一念を貫き通して現在の幸福な生活を礎く事が出来ました。私はこれは私自身の努力の結果、はた神佛の加護と、社會の皆様方の深い御同情との賜と絶えず感謝いたして居ります次第です。そして、この御恩に報ゆる意味に於いても自分の體力の續く限り働かせて頂きたいと念じて居ります。

強くそして女らしく

アンドリニース商會

A

子

主人が私と三人の子供を残して死去したのは今から十七年前の事です。當時私は三人の子供を養育して行かねばならぬ爲め、私の出身學校である麻布の英和學校の幼稚園で働いて居りましたが、其の収入ではとても私共の生活の支持が出来ませんし、其れかと言つて保母の資格の無い私が此上の俸給も載けませんので二年で止めました。そして學校で教はつた英語の記憶が頭に浮んで來ましたから英船の自宅教授や、出張教授をやつて生計を立て、居ました。かれこれして居る中に或人の紹介で今のアンドリニース商會に入りまして當時此商會の支配人は外人の方で私も其の秘書と云ふ名目で勤めたのですが、其の實種々の雜務をやつて居りました。今では支配人は日本人の方で私も當商會へ勤めてから約十年になります。其の間私は父にも誰にもお世話をお願いしないで、まあ自分の少々ばかりの養が基でやつて來た様な次第ですから素より家庭にある方又あらねばならぬ方には街頭へ出て職業婦人になる事をお奨め致しません。

又そんな事をなさるのには不心得です。然し、私共の様な境遇に在る方は自分の素養を活用して行けば一心の通ずる所達し得られぬ事は無いと思ひますから、獨立して他の支援によらず努力して行くべきだと考へます。只女が男性と一緒に仕事をして行く事ですから、女性の徳操を失はず、女の女らしさを忘れずに、又社會も職業婦人に充分の理解を以て臨んで頂きたいと思ひます。尙結婚問題ですが今日の婦人は、まあ二十四歳頃迄に結婚すればよいと思ひます。あまり若くては世の中といふものを解せず頭が確かりして居りませぬからです。尙信仰の事ですが、私はキリスト教を信心して居りますが、何宗でも殊に街頭に出て働かれる婦人の方には、一つの宗教信念を有つ事が必要だと考へられます。

私の工場服姿

森永製菓東京工場 小川ヨシ

兄が米屋で失敗しましてから一家の生計が困難になりましたので大正十二年の四月私の十四歳の時初めて姉の勤めて居る森永さんの製菓工場で働く事になりました。

學校生活から初めて職業婦人となつて、一種の社會生活に入りましてから、一緒に働いて居る他の人達も同じ様な事情の下に働く事になつたのだと考へますと互に仲よく楽しく仕事をして行きたいと願つて居ります。又仕事の上でもお菓子を様々に組合せて、其の種類を澤山作つて賣行きの増す様にと祈つて居ります。娯樂としては活動寫眞を稀に観る位で、何分勤めの傍らお裁縫を習つて居りますから暇ありません。尙、生花の趣味もあるので此れも習ひたいと思つて居ります。結婚の事に就きましたは、私には末の弟が居ますが間もなく尋常小學校を卒業しますので、此の弟を少し勉強させる考へで居りますから、もう二三年も働いて其の間に女としての藝を習つた上で適當な方に嫁ぎたいと思つて居ります。夫として希望いたしますのはお勤め人の方でございまして、そして許し、戴けるなら嫁いで後も職業婦人として働かせてもらふ考へです。



私達の生活

女優 水谷八重子

私達女優が寸時も忘れてならないものは、自分が決して男子に劣るものでないといふ信念であります。

勿論他の職業婦人も同様に斯ういつた抱負を有ち、實力を養ふために努力して居りますが、女優は特に此の點を強調いたします。一般に女優になつた方々は最初お小遣ひ位を貰つて二年乃至三年位たつと卅圓位は貰らへるのでありますが、夫から又四年位たつと順次に百圓位の収入になつて來ます。之は別に經歷の無い方ではありますが、經歷の有る方ですと最初から百圓位の収入になります。軍人なれば將校と云ふ格で之等は又特別の經歷者の方で御座います。現在の最高収入者は、一箇月二千五百圓位乃至三千圓位だそうです。普通一番多いのは三百圓位から千圓内外であります。けれども女優で自分自身が座を持つて居る方々、例へば中村歌扇様の如きは、一箇月一萬五千圓餘の収入があると云ふことを聞きました。女優と云ふものは殿方から御覽になると、非常に良い収入がある様に見られすが事實は決してそうではありません。普通の人は四五人位の弟子を持つて居りますが、上役になりますと二十四五人位の弟子又は下働きを使ひます。ですから此等の方にも給料を支拂はなければ成りません。實際餘り殿方の思はれる様に澤山の収入は御座いませぬ。私共が味に就く時間は午前二時頃になります。何故そんなに遅くなるかと申しますと劇場から歸るのが午後の十一時頃になります。歸つてから翌日の準備や其の他に色々な用事がありまして、午前二時頃にもなるのです。それで私共が起きますのは午前十一時頃ですが、そんなに永い睡眠時間を取る必要がありますかと申しますに、俳優は睡眠時間が少いと劇場で充分に働く事が出来ません。それで睡眠時間を出来るだけ澤山取るのです。午前十一時頃に起きると、食事を済ましてから劇場へ出るまで約二時間あります。其の間

に色々の用事と諸稽古を済ますのでありますから随分忙しいのです。此二時間の間にする主なるお稽古と申しますと、長唄、舞踊、謡
學（英語、佛語）などです。又其の他に特殊の方面の見學などもしなければなりません。この様な具合ですから社交的に使用する時間
は少いのであります。その内で私は勉強する時間を午後二時頃にきめて居ります。

今次の職業婦人調査は調査票甲號を當該銀行會社工場に、調査票乙號を其の銀行會社工場に勤務する婦人従業者に配布
し、各々其の所定事項を記入の上提出方を依頼するのであるが、前者 場合は擔任者に依頼するとしても後者に在つては
各人毎に趣旨の説明、記入方法の傳達をなすことは、限りある人員を以て短期間に之を行ふこと絶對不可能である。仍つ
て右の困難を救済するには是非共當該銀行會社工場に協力方を懇請する必要があるに鑑み、豫め銀行會社工場代表者宛に左
記様式の依頼狀を差出すこととした。

拜啓春景相動き梅信頻りに臻るの候愈々御清穆之段大慶至極奉存候

陳者本市は今般別紙要項に依り來る 自三月二十一日 至三月二十七日 の間に於いて市内所在の銀行、會社、工場等に勤務す
る婦人従業者の調査を執行致すことと相成り目下着々其の準備を進め居候

御承知の如く輓近婦人の實業界進出は寔に目覺ましきもの有之隨て之に伴ふ種々の問題も日に喧囂を極む
るの現狀に御座候

仍ち本調査は傭主竝に被傭人相互の福利増進を圖ると共に婦人職業の健全なる發達と産業の繁榮とを目的
とする各種の企畫に資せんと致すものに有之候

就いては御繁忙中寔に御迷惑の儀と恐縮至極には存候へ共貴所各位に對し本調査の趣旨傳達方に關し特に
御配慮賜り度旁々本調査完成に付格別の御援助仰度奉懇願候

先は右乍略儀以書中御依頼申述度如斯御座候

昭和六年三月十四日

敬 具

東京市長 永田 秀次郎

殿

追而近日係員をして調査趣意書、調査用紙等持參の上御伺ひ致させ可申候間何分の御指示仰度願上候

第二節 調査執行

職業婦人調査執行に關する準備的の行爲は以上に依つて全くなり、三月十日授職事業關係の臨時調査委員十一名の配屬も
決定を見たので愈々十四日職業婦人調査事務協議會を開き、統計課産業統計掛員及臨時調査員會合して左記事項に關し協
議した。

(一) 職業婦人調査要綱説明

(参考書類) イ職業婦人調査要綱 ロ調査依頼狀 ハ調査趣意書 ニ調査票甲號 ホ調査票乙號 ヘ「職業婦人の調べ」第一報

(二) 職業婦人調査票配布配屬人員並ビニ擔當地區決定ノ件

(三) 臨時職業婦人調査員諸君紹介

(四) 調査票配布上ノ注意事項

第二章 職業婦人調査の計畫及び方法